

圭陵会FAXニュース

発行所：岩手医科大学圭陵会
 発行人：石川 育成 編集人：酒井 明夫
 連絡先：TEL 019-624-8386 FAX 019-624-8380
 E-mail: info@keiryokai.gr.jp

第18号内容
 ・被災者の心 ケア万全に
 盛岡 岩手医大・県がセンター開所
 ・岩手医大が歯学部改革
 米ハーバード大と提携
 カリキュラム導入

岩手日報
 H24. 2. 16



県こころのケアセンターの看板を設置する宮館寿喜副知事(左)と小川彰学長

被災者の心ケア万全に

盛岡・岩手医大 県がセンター開所

県は15日、盛岡市内丸の岩手医大内に、東日本大震災で家族らを亡くした住民の心のケアの拠点となる県こころのケアセンター(セ

ンター長・酒井明夫岩手医大神経精神科学講座教授)を開所した。沿岸4市に開設される地域拠点と連携しながら、長期にわたって被災者のケアを担う。

開所式には、宮館寿喜副知事や岩手医大の小川彰学長らが出席。宮館副知事は「心のケアは復興への取り組みの中でも重要な被災者の心に寄り添った的確な専門的支援を行ってほしい」とあいさつした。

同センターは、被災者のメンタルケアに関する専門医の配置や、人材育成など総合的な調整を行う。酒井教授ら精神科医のほか、臨床心理士や精神保健福祉士ら12人ほどで運営する。

沿岸部の拠点となる地域こころのケアセンターは来月、大船渡、釜石、宮古、久慈の4保健所内に開設される予定。現在、精神科医ら専門職員の人材確保を進めている。

同センターは、県からの委託を受け岩手医大が運営。県は2012年度当初予算案に関連事業費約6億4500万円を計上している。

同センターは、被災者のメンタルケアに関する専門医の配置や、人材育成など総合的な調整を行う。酒井教授ら精神科医のほか、臨床心理士や精神保健福祉士ら12人ほどで運営する。

岩手医大が歯学部改革

米ハーバード大と提携

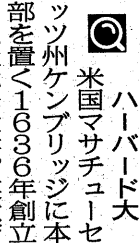
カリキュラム導入

岩手医大(小川彰学長)は米国ハーバード大と提携し、歯学部改革に乗り出した。岩手医大出身のハーバード大歯学部准教授を学長顧問に迎え、カリキュラムを全面的に見直すなど、世界トップレベルの同大の教育システムを国内の大学歯学部で初めて導入。高齢化の進展で口腔ケアの重要性が増す中、歯科教育・臨床のリーダーとなる人材育成を目指す。

永井氏(釜石出身)学長顧問に

両大の主な提携内容は▽同大教授陣を招いては▽岩手医大がハーバード大の講義▽同大が行う臨床実習への学生派遣▽リキニラムを導入するなど。

昨秋から、ハーバード大が効果を挙げている学年縦割りの「ソサエティシステム」を導入している。



ハーバード大 米国マサチューセッツ州ケンブリッジに本部を置く1636年創立の私立総合大学。英教育専門誌による世界大学ランキングで2010年まで7年連続1位を維持するなど、学問的水準の高い名門として知られる。米大統領やノーベル賞受賞者ら、国際的に活躍する各界のリーダーも数多く輩出している。

ソサエティシステム 学年を縦割りにしたグループを組織し、個々の学生を総合的に支援する仕組み。ハーバード大医学部・歯学部が長年採用し、教育効果を上げる。

岩手医大歯学部は1〜6年生各約10人ずつと臨床研修医を含むグループを複数つくり、担当教員各2人を配置。専用の部屋を設け、上級生による指導や教員の即時対応を通じ、学習や進路など学生のさまざまな課題解決を図っている。

2012年度からは高度先進歯科医療を学ぶ機会を設けるほか、診療参加型臨床教育の充実、3次元撮影による歯型どり、インプラント治療などを柱に据える。

岩手医大は11年4月、卒業生でハーバード大歯学部の永井成美

准教授(54)釜石市出身、ボストン在住を非常勤の学長顧問に迎え、同7月に改革プロジェクト実行委を組織。同大のR・ブルー・ス・ドノフ歯学部長と小川学長が同12月15日、プロジェクトに関する覚書を締結した。

改革プロジェクトで指導的役割を担う永井学長顧問は「大学の義務である高度最新医療と学生教育をさらに充実させたい」と意欲。25日に岩手医大歯学会の公開シンポジウムで「歯学部改革・2012年」と題し、特別講演する。小川学長は「矢巾キ

採用。1〜6年の各学年10人程度を一つのグループとし、指導教員の下で上級生が下級生を指導するなど、歯学部全体の底上げに着手した。

岩手医大は11年4月、卒業生でハーバード大歯学部の永井成美

准教授(54)釜石市出身、ボストン在住を非常勤の学長顧問に迎え、同7月に改革プロジェクト実行委を組織。同大のR・ブルー・ス・ドノフ歯学部長と小川学長が同12月15日、プロジェクトに関する覚書を締結した。

2012年度からは高度先進歯科医療を学ぶ機会を設けるほか、診療参加型臨床教育の充実、3次元撮影による歯型どり、インプラント治療などを柱に据える。

岩手医大は11年4月、卒業生でハーバード大歯学部の永井成美

准教授(54)釜石市出身、ボストン在住を非常勤の学長顧問に迎え、同7月に改革プロジェクト実行委を組織。同大のR・ブルー・ス・ドノフ歯学部長と小川学長が同12月15日、プロジェクトに関する覚書を締結した。

採用。1〜6年の各学年10人程度を一つのグループとし、指導教員の下で上級生が下級生を指導するなど、歯学部全体の底上げに着手した。

岩手医大は11年4月、卒業生でハーバード大歯学部の永井成美

准教授(54)釜石市出身、ボストン在住を非常勤の学長顧問に迎え、同7月に改革プロジェクト実行委を組織。同大のR・ブルー・ス・ドノフ歯学部長と小川学長が同12月15日、プロジェクトに関する覚書を締結した。

2012年度からは高度先進歯科医療を学ぶ機会を設けるほか、診療参加型臨床教育の充実、3次元撮影による歯型どり、インプラント治療などを柱に据える。

岩手医大は11年4月、卒業生でハーバード大歯学部の永井成美

准教授(54)釜石市出身、ボストン在住を非常勤の学長顧問に迎え、同7月に改革プロジェクト実行委を組織。同大のR・ブルー・ス・ドノフ歯学部長と小川学長が同12月15日、プロジェクトに関する覚書を締結した。

採用。1〜6年の各学年10人程度を一つのグループとし、指導教員の下で上級生が下級生を指導するなど、歯学部全体の底上げに着手した。

岩手医大は11年4月、卒業生でハーバード大歯学部の永井成美

准教授(54)釜石市出身、ボストン在住を非常勤の学長顧問に迎え、同7月に改革プロジェクト実行委を組織。同大のR・ブルー・ス・ドノフ歯学部長と小川学長が同12月15日、プロジェクトに関する覚書を締結した。

圭陵会FAXニュース

圭陵会ホームページよりPDF形式でダウンロード頂けます。

■圭陵会ホームページアドレス <http://www.keiryokai.gr.jp>